

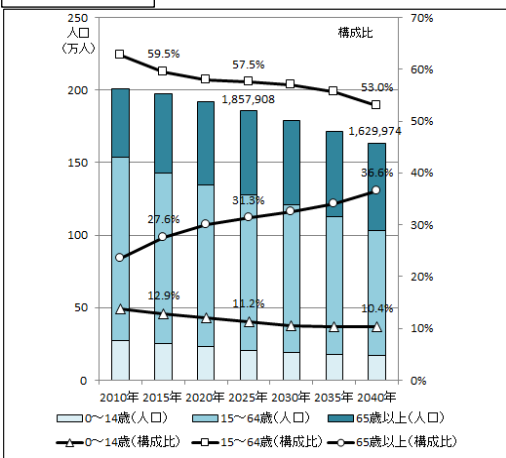
群馬県地域医療構想の概要について

地域医療構想策定の趣旨

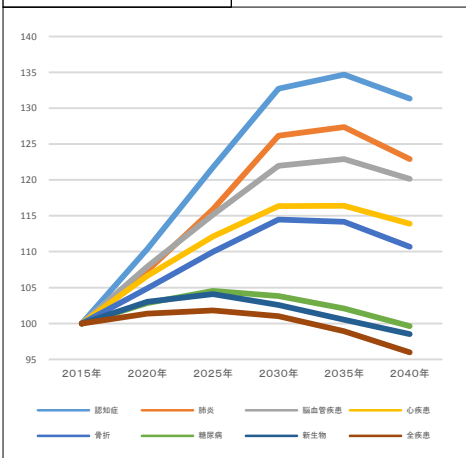
【背景】

- 本県の人口は、すでに減少の局面。平成26年（2014年）から平成37年（2025年）までの約10年間で、県総人口は11.8万人減少
- 一方、平成37年（2025年）までには団塊の世代がすべて75歳以上になる。2025年までに75歳以上人口は25.2万人から34.4万人となり、9.2万人増加
- これからの10年は人口が減少だけでなく、人口構成も大きく変化する転換期

人口推計



医療需要の推計



- 人口構成や疾病構造の変化で、慢性的な疾患や複数の疾病を抱える患者が増加することが見込まれることから、将来の医療需要に対応した地域の医療提供体制のあり方を継続的に検討しながら整備を推進することが必要。

地域医療構想の目的

病床の機能分化・連携を推進するとともに、地域包括ケアシステムの構築を念頭に、2025年に向けて高度急性期、急性期、回復期、慢性期、在宅医療・介護までの一連のサービスが切れ目なく適切に提供されるよう、医療と介護の総合的な確保を図り、できる限り住み慣れた地域で安心して暮らせる環境を整備。

【地域医療構想の位置付け】

- 医療法第30条の4第1項の規定により、群馬県保健医療計画の一部を構成するものとして位置付け。

地域医療構想の概要

【地域医療構想の内容】

- 構想区域の設定
- 構想区域における将来の病床の必要量の推計（病床機能ごとの必要病床数）
- 構想区域における将来の在宅医療等の推計
- 地域医療構想の実現に向けて取り組む事項
- 地域医療構想調整会議の設置・運営 など

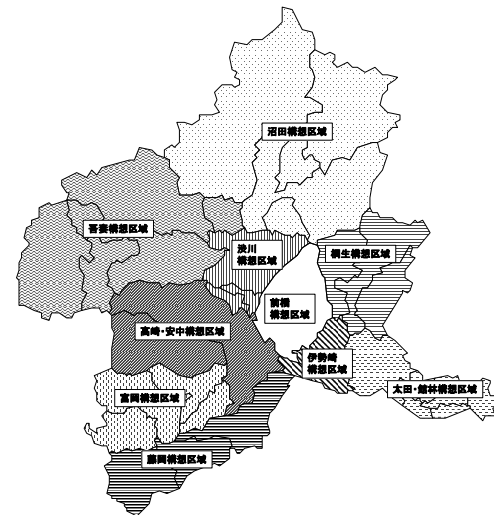
構想区域

【構想区域とは】

- 地域における病床の機能分化及び連携を推進する区域

【構想区域の設定】

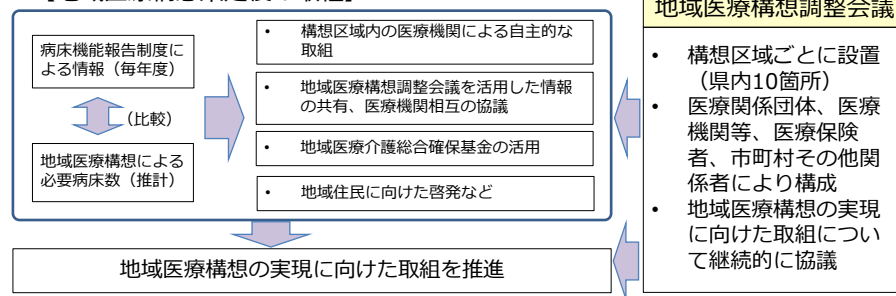
- 人口規模、患者受療動向、地理的状況や生活圏などを総合的に判断し、現行の二次保健医療圏を構想区域として設定（県内10地域）



地域医療構想の推進

限られた医療資源を効率的・効果的に活用するため、将来の人口や医療需要の動向、将来のあるべき医療提供体制の方向性について共有し、地域の実情に応じ、主体的な取組を進める

【地域医療構想策定後の取組】



平成37年（2025年）の医療需要と病床等の必要量

地域医療構想は、構想区域ごと、病床の機能区分ごと（高度急性期、急性期、回復期、慢性期）の将来の必要病床数や在宅医療等の医療需要を推計

【2025年における病床数の必要量（必要病床数）】

構想区域	医療機能	病床機能報告 2015年7月(床)①	必要病床数(床)		比較	
			2025年(床)②	2030年(床)	差①-②	割合②/①
前橋	高度急性期	1,561	529	-	+ 1,032	33.9%
	急性期	1,475	1,429	-	+ 46	96.9%
	回復期	314	1,149	-	▲ 835	365.9%
	慢性期	481	459	-	+ 22	95.4%
	小計	3,831	3,566	-	+ 265	93.1%
渋川	高度急性期	71	128	-	▲ 57	180.3%
	急性期	804	256	-	+ 548	31.8%
	回復期	66	287	-	▲ 221	434.8%
	慢性期	278	256	-	+ 22	92.1%
	小計	1,219	927	-	+ 292	76.0%
伊勢崎	高度急性期	11	186	-	▲ 175	1690.9%
	急性期	1,385	627	-	+ 758	45.3%
	回復期	250	805	-	▲ 555	322.0%
	慢性期	388	544	-	▲ 156	140.2%
	小計	2,034	2,162	-	▲ 128	106.3%
高崎・安中	高度急性期	469	283	-	+ 186	60.3%
	急性期	1,944	975	-	+ 969	50.2%
	回復期	468	1,314	-	▲ 846	280.8%
	慢性期	1,039	1,127	-	▲ 88	108.5%
	小計	3,920	3,699	-	+ 221	94.4%
藤岡	高度急性期	0	95	-	▲ 95	-
	急性期	625	314	-	+ 311	50.2%
	回復期	55	331	-	▲ 276	601.8%
	慢性期	247	126	-	+ 121	51.0%
	小計	927	866	-	+ 61	93.4%
富岡	高度急性期	6	59	-	▲ 53	983.3%
	急性期	388	185	-	+ 203	47.7%
	回復期	57	179	-	▲ 122	314.0%
	慢性期	427	302	-	+ 125	70.7%
	小計	878	725	-	+ 153	82.6%
吾妻	高度急性期	0	18	18	▲ 18	-
	急性期	331	103	103	+ 228	31.1%
	回復期	226	284	284	▲ 58	125.7%
	慢性期	778	167	135	+ 611	21.5%
	小計	1,335	572	540	+ 763	42.8%
沼田	高度急性期	133	69	-	+ 64	51.9%
	急性期	414	313	-	+ 101	75.6%
	回復期	295	251	-	+ 44	85.1%
	慢性期	199	228	-	▲ 29	114.6%
	小計	1,041	861	-	+ 180	82.7%
桐生	高度急性期	33	102	-	▲ 69	309.1%
	急性期	984	413	-	+ 571	42.0%
	回復期	106	528	-	▲ 422	498.1%
	慢性期	822	463	-	+ 359	56.3%
	小計	1,945	1,506	-	+ 439	77.4%
太田・館林	高度急性期	36	231	-	▲ 195	641.7%
	急性期	2,028	857	-	+ 1,171	42.3%
	回復期	190	939	-	▲ 749	494.2%
	慢性期	814	667	-	+ 147	81.9%
	小計	3,068	2,694	-	+ 374	87.8%
県計	高度急性期	2,320	1,700	-	+ 620	73.3%
	急性期	10,378	5,472	-	+ 4,906	52.7%
	回復期	2,027	6,067	-	▲ 4,040	299.3%
	慢性期	5,473	4,339	-	+ 1,134	79.3%
	総計	20,198	17,578	-	+ 2,620	87.0%

【在宅医療等の医療需要】

構想区域	医療機能	2013年度の 医療需要 (人/日) ①	2025年の 医療需要(患 者住所地) (人/日) ②	増減数 (人/日) ②-①	増減率 ②/①
前橋	在宅医療等	1,496.1	2,077.2	581.1	138.8%
	在宅医療等のうち訪問診療分 ※	232.2	291.0	58.8	125.3%
	その他	1,263.8	1,786.1	522.3	141.3%
渋川	在宅医療等	541.0	792.1	251.1	146.4%
	在宅医療等のうち訪問診療分 ※	32.8	61.6	28.9	188.0%
	その他	508.2	730.5	222.3	143.7%
伊勢崎	在宅医療等	884.1	1,311.0	426.9	148.3%
	在宅医療等のうち訪問診療分 ※	78.2	121.9	43.7	155.9%
	その他	805.9	1,189.1	383.2	147.5%
高崎・安中	在宅医療等	1,877.9	2,700.1	822.2	143.8%
	在宅医療等のうち訪問診療分 ※	236.7	292.2	55.5	123.5%
	その他	1,641.3	2,407.9	766.6	146.7%
藤岡	在宅医療等	405.4	505.8	100.4	124.8%
	在宅医療等のうち訪問診療分 ※	44.1	44.8	0.7	101.5%
	その他	361.3	461.0	99.7	127.6%
富岡	在宅医療等	458.4	533.2	74.9	116.3%
	在宅医療等のうち訪問診療分 ※	23.0	23.1	0.0	100.2%
	その他	435.3	510.2	74.8	117.2%
吾妻	在宅医療等	424.0	535.3	111.3	126.2%
	在宅医療等のうち訪問診療分 ※	25.2	30.6	5.3	121.2%
	その他	398.8	504.7	105.9	126.6%
沼田	在宅医療等	526.8	629.6	102.7	119.5%
	在宅医療等のうち訪問診療分 ※	21.8	23.7	1.9	108.8%
	その他	505.0	605.8	100.8	120.0%
桐生	在宅医療等	906.9	1,249.1	342.2	137.7%
	在宅医療等のうち訪問診療分 ※	100.0	125.5	25.5	125.5%
	その他	807.0	1,123.7	316.7	139.2%
太田・館林	在宅医療等	1,607.0	2,295.1	688.1	142.8%
	在宅医療等のうち訪問診療分 ※	154.0	193.3	39.3	125.5%
	その他	1,453.0	2,101.8	648.8	144.6%
県計	在宅医療等(件/日)	9,127.6	12,628.4	3,500.8	138.4%
	在宅医療等のうち訪問診療分 ※	948.0	1,207.6	259.7	127.4%
	その他	8,179.6	11,420.8	3,241.2	139.6%

※(訪問診療(件/月))/20日*1.9回(1か月当たりの平均受診回数(全国平均))

【必要病床数について】

○必要病床数の算定方法は次のとおりで、全国統一の算定方法で推計されています。

(1)将来の医療需要を算出

平成25年度の性年齢別の入院受療率×平成37年の性年齢別の推計人口
(※入院受療率：人口10万人当たりの1日入院患者数の比率)

(2)(1)の医療需要を次の病床稼働率で割り戻し
高度急性期：75%、急性期：78%、回復期：90%、慢性期：92%

○必要病床数は将来の医療提供体制に向けた推計値です。医療機関の自主的な取組や調整会議での協議等の目安であり、病床の削減目標といった性格を持つものではありません。

【在宅医療等について】

○在宅医療等には、居宅のほか、特別養護老人ホーム、養護老人ホーム、軽費老人ホーム、介護老人保健施設等において訪問診療等を受ける場合を含みます。

病床機能報告と必要病床数の比較

【病床機能報告制度】

- 一般病床・療養病床を有する医療機関は、現在の病床機能（現状）と6年後の病床機能（予定）を高度急性期、急性期、回復期、慢性期から選択し、毎年、報告を行います。

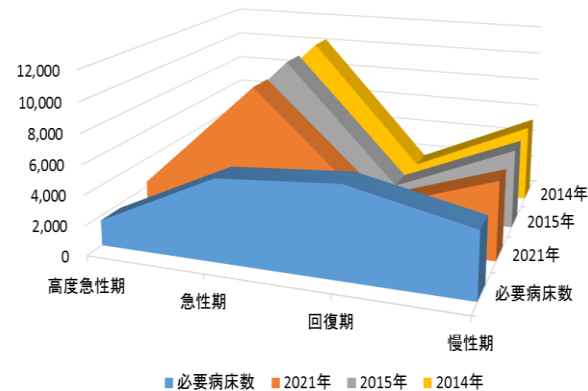
【地域医療構想と病床機能報告の比較】

- 地域医療構想による病床機能ごとの必要病床数と、病床機能報告による病床機能ごとの病床数を、構想区域ごとに比較します。
- 構想区域において不足する病床機能や過剰となる病床機能の状況などを各医療機関や関係者で共有することができます。

【地域の実情に応じた取組】

- 現状や今後の方向性などを共有しながら、医療機関の自主的な取組や地域医療構想調整会議での協議など、地域の実情に応じた取組を進めます。

【病床機能報告と必要病床数の状況】



	高度急性期	急性期	回復期	慢性期
2014年	2,612床	10,332床	1,715床	5,350床 (H 2 6 病床機能報告)
2015年	2,320床	10,378床	2,027床	5,473床 (H 2 7 病床機能報告)
2021年	2,346床	9,938床	2,554床	5,298床 (同上、6年後の予定)
2025年	1,700床	5,472床	6,067床	4,339床【必要病床数【推計】】

【本県のポイント】

- 急性期や慢性期の病床機能が過剰となり、回復期の病床機能が不足する傾向にあります。
- 急性期や慢性期の病床機能を回復期の病床機能に転換していく必要があります。

【留意点】

- ・病床機能報告制度では病床機能を区分する定量的な基準がないため、病床機能の選択は医療機関の自主的な判断に基づく報告となっています。
- ・また、病棟単位での報告となるため、1つの病棟が複数の医療機能を担っている場合（ケアミックス病棟等）には、主に担っている機能1つを選択し、報告しています。

地域医療構想の実現に向けた取組の方向性

1 病床の機能分化・連携の推進

- 患者の医療需要に応じた適切な医療機能を提供できるよう、不足が見込まれる回復期病床への転換を促進し、それぞれの地域でバランスのとれた病床整備を推進
- 構想区域における医療機関の役割分担の明確化、連携体制の強化による効率的かつ効果的な医療提供体制の構築
- 慢性期については、回復期等への病床転換と、在宅医療・介護サービスの充実を一体的に推進
- がん、認知症等の医療需要の増加に対応した医療機能の充実及び連携強化
- 認知症を含む精神疾患と身体疾患を合併する患者への医療提供のための診療協力体制の整備 など

2 在宅医療・介護サービスの充実

- 在宅医療ニーズの増加と多様化に対応。在宅医療・介護の普及と連携体制の整備推進
- 退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取りなど、在宅医療における適切な連携体制の構築
- 地域の実情に応じた在宅医療・介護サービスの提供体制の整備（医療資源の状況、地域特性への配慮）
- 患者や家族が希望する場所で安心して医療・介護サービスを受けられる在宅医療提供体制の整備促進 など

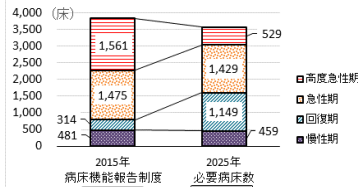
3 医療人材の確保・養成

- 地域に必要な医師、看護師その他医療従事者の確保
- 回復期医療を担う医療従事者の育成・確保
- 在宅医療を担う医療従事者の確保・養成と、介護職などとの多職種連携の取組を推進
- 回復期病床等の整備にあわせた人材確保（リハビリテーションの専門医・看護師・その他の医療従事者等）
- 認知症への対応（認知症サポート医、認知症や緩和ケア等に対応する専門性の高い看護師等） など

- 地域医療構想の実現に向けては、群馬県保健医療計画を着実に推進するとともに、病床機能の分化・連携、医療・介護サービスの充実と連携、在宅医療等を担う医療従事者等の確保などに取り組むことが必要です。
- これらの取組を地域の実情に応じて進めるため、構想区域ごとの調整会議で協議を行うとともに、医療機関等の自主的な取組について地域医療介護総合確保基金により支援を行います。

各構想区域の状況

前橋地域



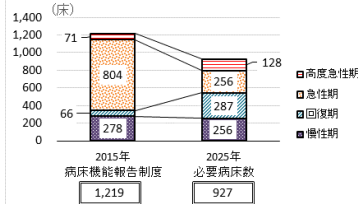
【状況・課題】

- 高度急性期、急性期、回復期において県内の複数の地域及び埼玉北部から患者の流入がみられる
- 在宅医療資源は県平均を上回るが、慢性期で患者の流出がみられ、更なる在宅医療等の充実が必要

【施策の方向性】

- 高度急性期から回復期において、現在担っている機能の維持
- 他の地域との医療機能の役割分担と連携
- 在宅医療及び介護サービスの一層の充実

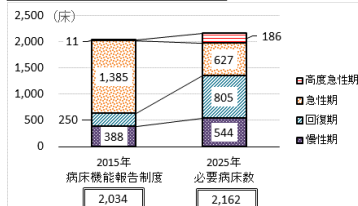
渋川地域



- 前橋地域との間で、すべての機能で患者の流出がみられる
- また、吾妻地域からは、急性期、回復期、慢性期の機能で患者の流入がみられる
- 在宅医療資源は県平均を上回る

- 渋川医療センターの整備に伴う北毛地域の拠点機能の充実と連携
- 退院支援の取組を一層推進

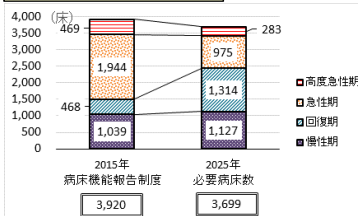
伊勢崎地域



- 前橋地域へ、すべての機能で患者が流出
- 埼玉北部からは、すべての機能で患者が流入
- 在宅医療資源は県平均を下回る

- 高齢者人口の増加で需要増が見込まれる在宅医療の提供基盤整備が急務
- 在宅医療と介護との連携強化
- 訪問介護事業所等の介護サービスの充実、グループホーム等の住まいの確保

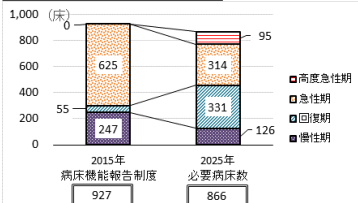
高崎・安中地域



- 前橋地域との間で、すべての機能で患者の流出がみられる
- 隣接地域、特に西毛（藤岡地域、富岡地域）を中心に患者の流出がみられ、渋川地域や埼玉北部との流出もみられる
- 在宅医療資源は県平均並

- 西毛地域を中心として、周辺地域との連携強化
- 今後の高齢者人口の急増を見据えた在宅医療提供基盤の整備、介護サービスの充実

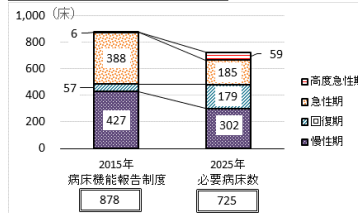
藤岡地域



- 高度急性期、急性期、回復期において埼玉北部から患者が流入
- また、高崎・安中地域との間で、すべての機能で患者の流出がみられる
- 在宅医療資源は県平均を上回る

- 高度急性期から回復期において現在担っている機能の維持
- 在宅医療の提供基盤の整備、介護サービスの充実
- 中山間地域における保健・医療の確保

富岡地域



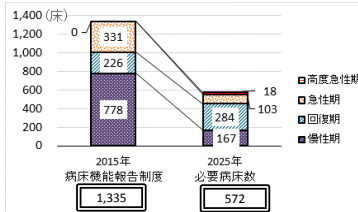
【状況・課題】

- 高崎・安中地域との間で患者の流出がみられるが、ほかの地域とは少なく、富岡地域及び高崎・安中地域での完結率が高い
- 在宅医療資源は県平均を下回る

【施策の方向性】

- 高崎・安中地域との連携も踏まえた機能分化
- 訪問看護事業所など在宅医療提供基盤の拡充
- 介護サービスの充実、グループホーム等の住まいの場、中山間地域における保健・医療の確保

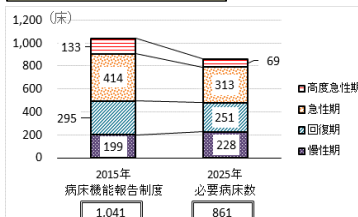
吾妻地域



- 前橋地域、渋川地域、沼田地域と、様々な機能で患者の流出がみられる
- 在宅医療資源は十分といえない状況
- 高齢者人口の増加、単身世帯の割合が比較的高い

- 渋川医療センターの整備に伴う渋川地域との連携
- 訪問看護事業所など在宅医療提供基盤の拡充
- 介護サービスの充実、グループホーム等の住まいの場、中山間地域における保健・医療の確保

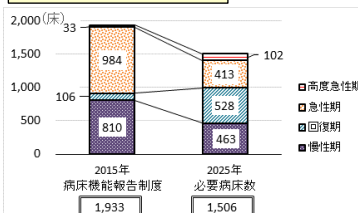
沼田地域



- 前橋地域、吾妻地域との間で患者流出があるが、完結率が高い地域
- 在宅医療資源は十分といえない状況
- 高齢者人口の増加、単身世帯の割合が高く、在宅死亡率は低い

- 地域内の連携とバランスを考慮した病床機能転換
- 訪問看護や訪問介護、看取りなど総合的な対応
- 中山間地域における保健・医療の確保

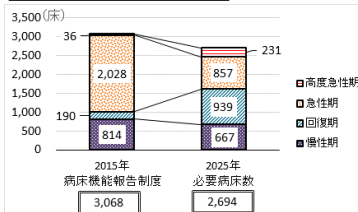
桐生地域



- 隣接地域（前橋、伊勢崎、太田・館林）との間で患者の流出があるが、完結率が比較的高い地域
- 回復期において栃木県両毛から患者の流入がみられる
- また、慢性期で太田・館林地域からの流入が多くみられる

- 地域内の連携とバランスを考慮した病床機能転換
- 在宅医療提供基盤の整備、介護サービスの充実。
- グループホーム等の住まいの場の確保

太田・館林地域



- 高度急性期、急性期、回復期において前橋地域へ患者の流出がみられる。また、急性期から慢性期で、隣接地域（伊勢崎、桐生）との間で流出がみられる
- 埼玉北部から、すべての機能で患者が流入。栃木両毛とすべての機能で患者の流出がみられる

- 隣接地域との連携も踏まえた医療施設の役割分担と機能分化
- 今後の高齢者人口の急増を見据えた在宅医療提供基盤の整備。介護サービスの充実
- グループホーム等の住まいの場の確保